



2022年第2四半期 業績概要

～五大陸をつなぐ世界No.1ブランドをめざして～

ホシザキ株式会社

(証券コード:6465 東証プライム・名証プレミア)

2022.8.8

HOSHIZAKI

I. 2022年第2四半期 決算概況	:P.02-14
II. 2022年第2四半期 決算のポイント	:P.15-22
III. 会社概要・事業内容	:P.23-27
<参考> 2022年12月期 業績予想	:P.28-29



I. 2022年第2四半期決算概況

為替の前提

	21年第2四半期		22年第2四半期		22年通期業績予想 (22.2.9)	
	実績		実績		期中平均	期末
	期中平均	期末	期中平均	期末		
米ドル	107.7	110.5	123.1	136.6	110.0	110.0
ポンド	149.7	153.1	159.5	165.7	155.0	155.0
ユーロ	129.8	131.5	134.3	142.6	130.0	130.0
シンガポールドル	80.8	82.1	90.1	98.1	83.0	83.0
人民元	16.6	17.1	18.9	20.3	17.1	17.1
デンマーククローネ	17.4	17.7	18.0	19.1	17.9	17.9
台湾ドル	3.8	3.9	4.2	4.6	3.9	3.9
香港ドル	13.8	14.2	15.7	17.4	14.1	14.1
インドルピー	1.48	1.50	1.62	1.74	1.51	1.51
韓国ウォン	0.0965	0.0978	0.0998	0.1052	0.0976	0.0976
ブラジルリアル	20.0	22.1	24.3	26.0	20.8	20.8
インドネシアルピア	0.0076	0.0077	0.0086	0.0092	0.0077	0.0077
タイバーツ	3.5	3.4	3.6	3.8	3.5	3.5
マレーシアリングット	26.3	26.6	28.7	31.0	26.5	26.5
ベトナムドン	0.0046	0.0047	0.0053	0.0059	0.0047	0.0047
フィリピンペソ	2.25	2.30	2.38	2.50	2.30	2.30



2022年第2四半期 決算概要

■ 通期業績予想、為替前提ともに期首の計画を据え置く

■ 売上高は1,502億円 (前年同期比10.0%増)

- 国内：売上高 889億円 (同1.4%減)
- 海外：売上高 612億円 (同32.1%増) 海外売上高比率:40.8% (同6.8pt増)

※報告セグメント情報の「米州」「欧州・アジア」より算出

- 国内：国内では、段階的に回復する飲食市場及び飲食外市場への拡販と新規顧客の開拓に注力したものの、世界的なサプライチェーンの混乱や中国のロックダウン等を起因とする部材の調達難が続き、顧客需要に対する供給に制約が生じた。また、「収益認識に関する会計基準」の適用により約14億円の減収影響。
- 海外：経済の持ち直しに伴い需要は継続して回復しており、すべてのセグメントで大幅増収。

■ 営業利益は132億円 (同6.5%減) 営業利益率:8.8% (同1.6pt減)

- 国内：営業利益 80億円 (同19.7%減) 国内営業利益率:9.0% (同2.1pt減)
- 海外：営業利益 57億円 (同26.6%増) 海外営業利益率:9.4% (同0.4pt減)

※報告セグメント情報の「米州」「欧州・アジア」より算出

- 世界的な材料費・物流費高騰による収益性の悪化の影響等により減益。
また、国内においては「収益認識に関する会計基準」の適用により、約3.3億円の減益影響。

■ 経常利益は241億円 (同32.5%増)

- 営業外損益に外貨預金等による為替差益110億円を計上(前期は為替差益35億円を計上)。

■ 親会社株主に帰属する四半期純利益は165億円 (同30.8%増)



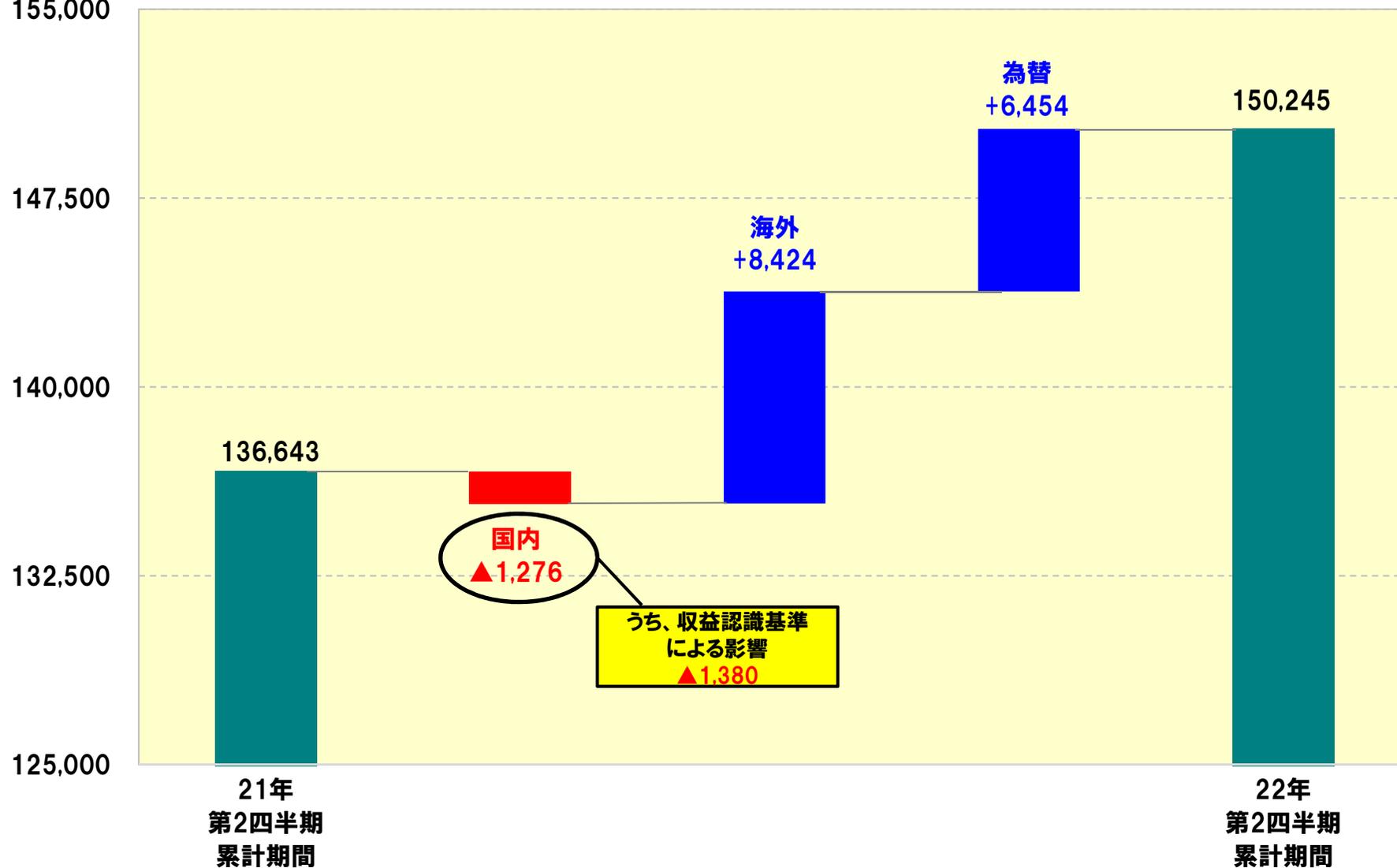
連結損益計算書

	21年 第2四半期 累計期間		22年 第2四半期 累計期間			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比	
					増減額 (百万円)	率 (%)
売上高	136,643	100.0	150,245	100.0	+13,601	110.0
売上原価	85,607	62.6	96,795	64.4	+11,188	113.1
売上総利益	51,036	37.4	53,449	35.6	+2,412	104.7
販売費及び一般管理費	36,846	27.0	40,186	26.7	+3,339	109.1
営業利益	14,189	10.4	13,263	8.8	▲926	93.5
経常利益	18,229	13.3	24,159	16.1	+5,930	132.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	12,683	9.3	16,594	11.0	+3,910	130.8

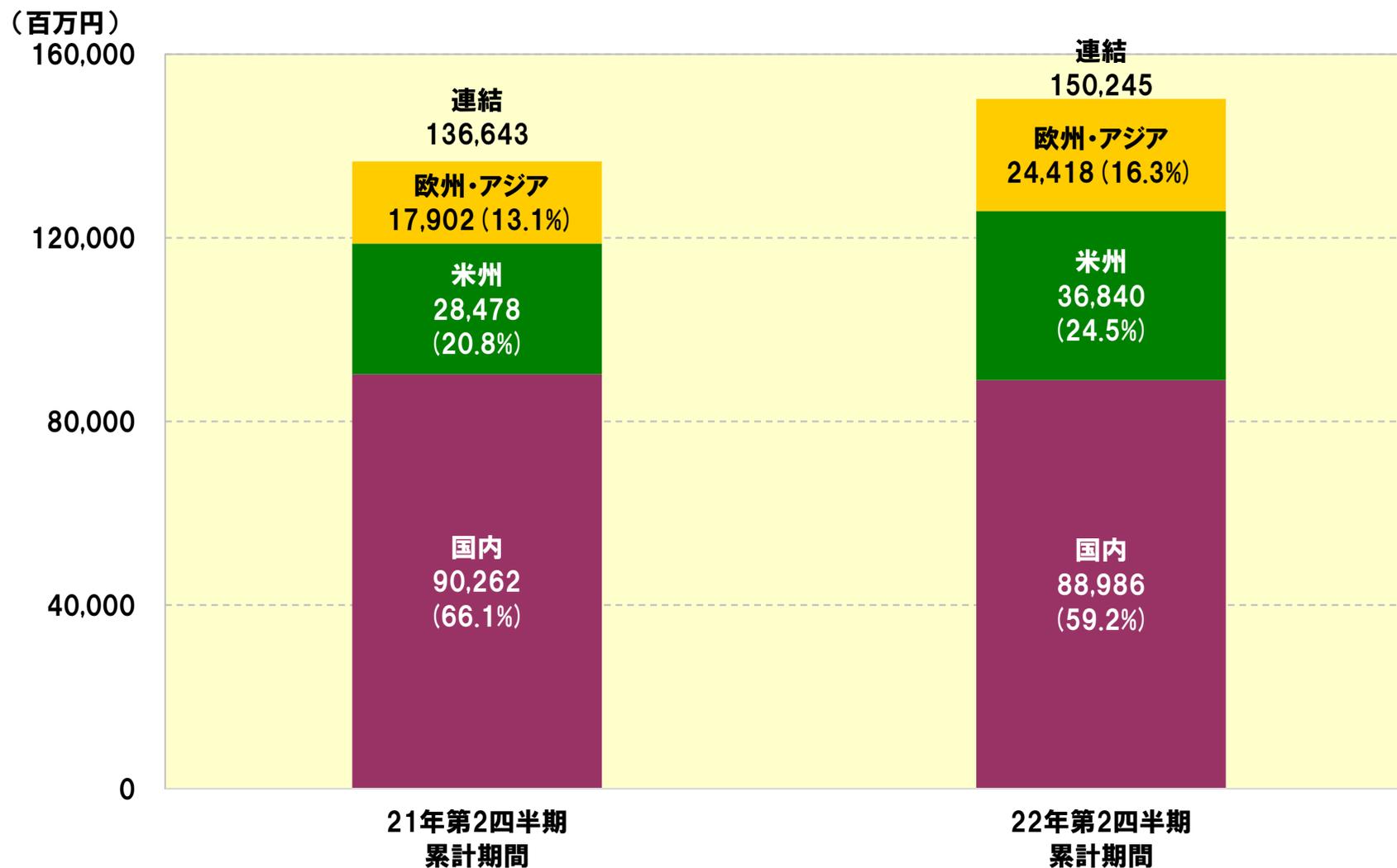


連結売上高増減要因(国内・海外)

(百万円)
155,000



報告セグメント別売上高の前期比較



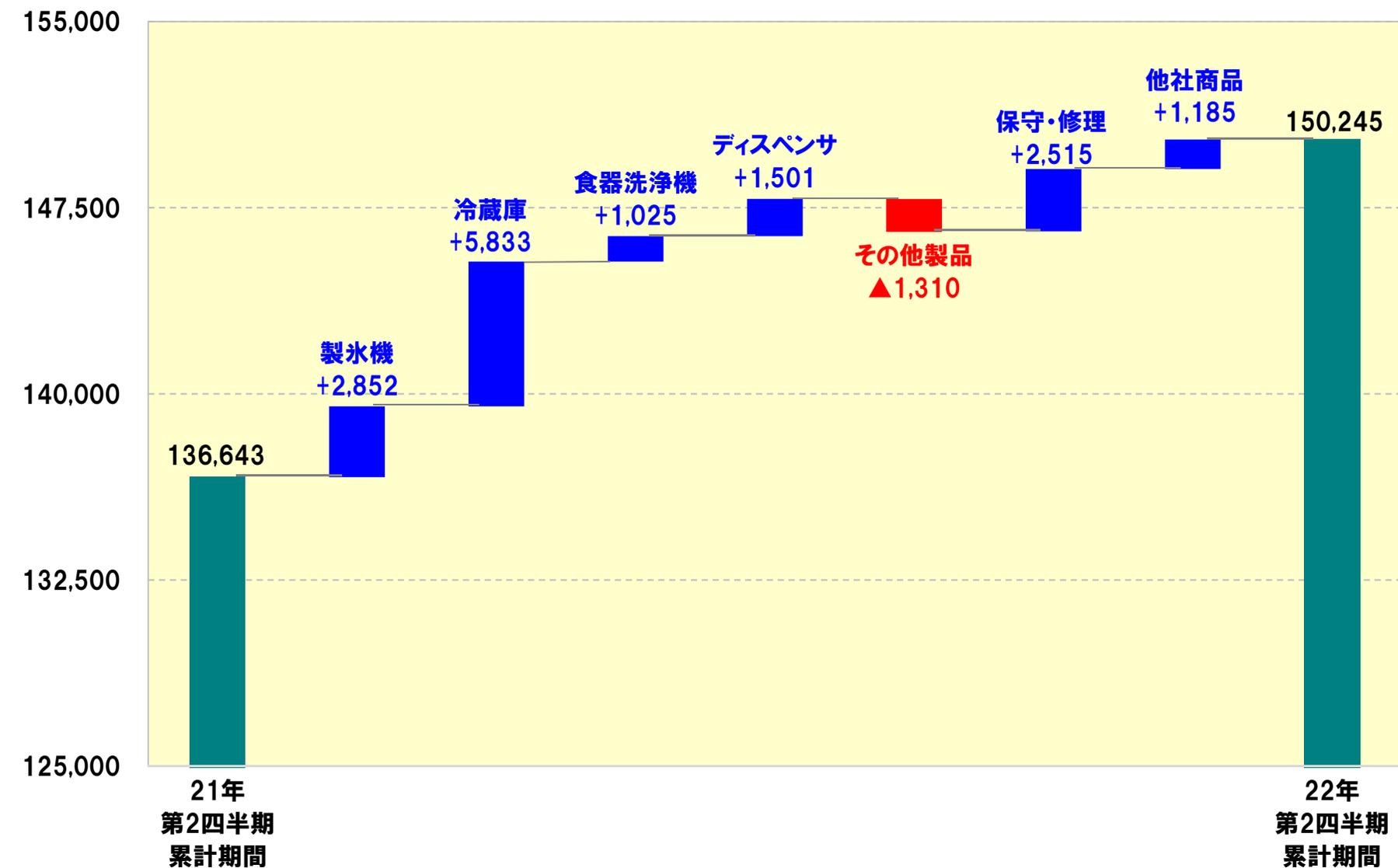
※ () 内は構成比を示す。

※ 本社所在地エリア区分(例:ランサー欧州は米州に算入。社内経営管理区分であり、有価証券報告書開示区分と同一。)



連結売上高増減要因(製品群別)

(百万円)



連結営業利益増減要因

(百万円)

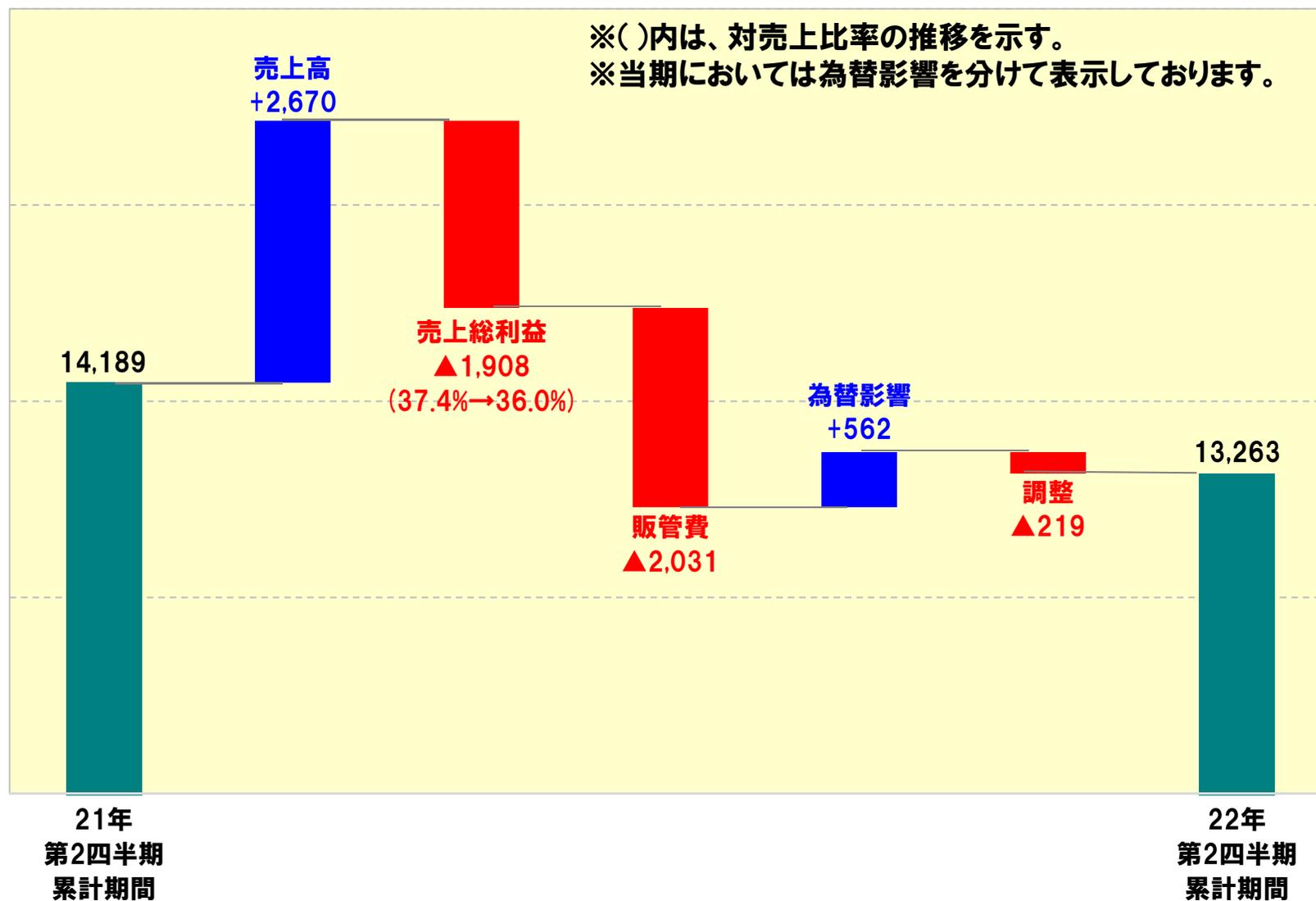
18,000

16,000

14,000

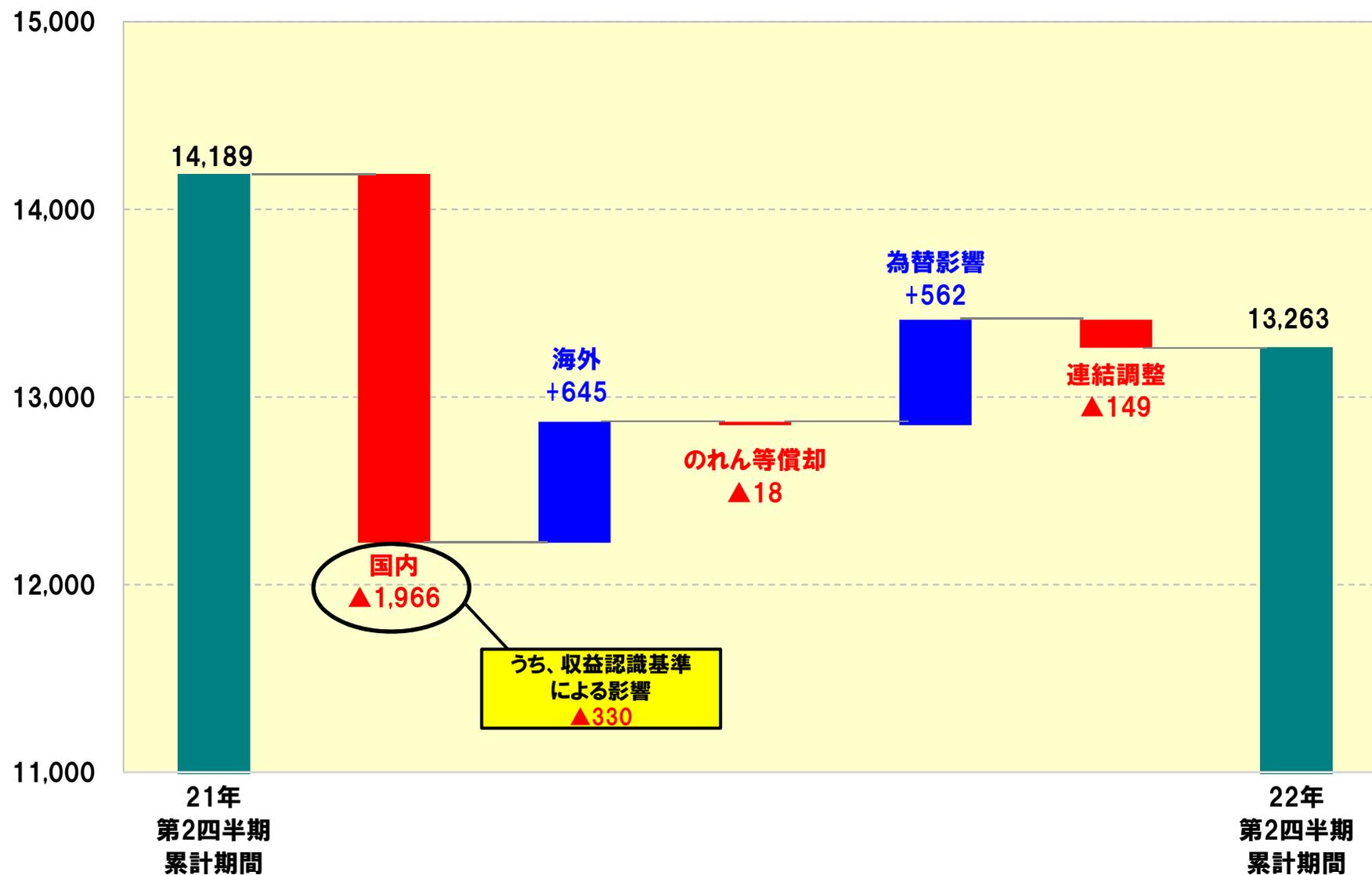
12,000

10,000



連結営業利益増減要因(国内・海外)

(百万円)

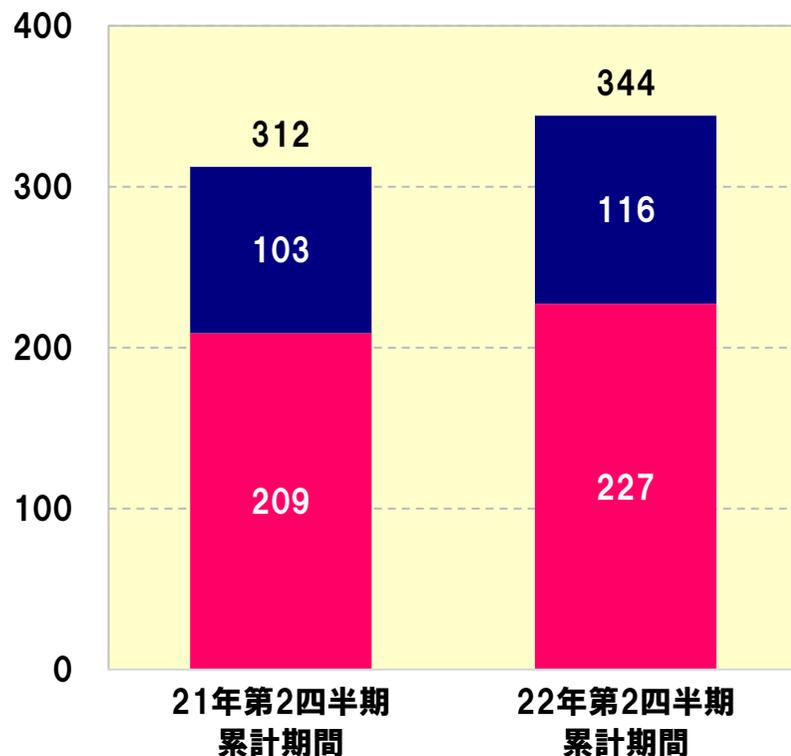


のれん等償却額の影響

■ 無形固定資産償却
■ のれん償却
■ 営業利益

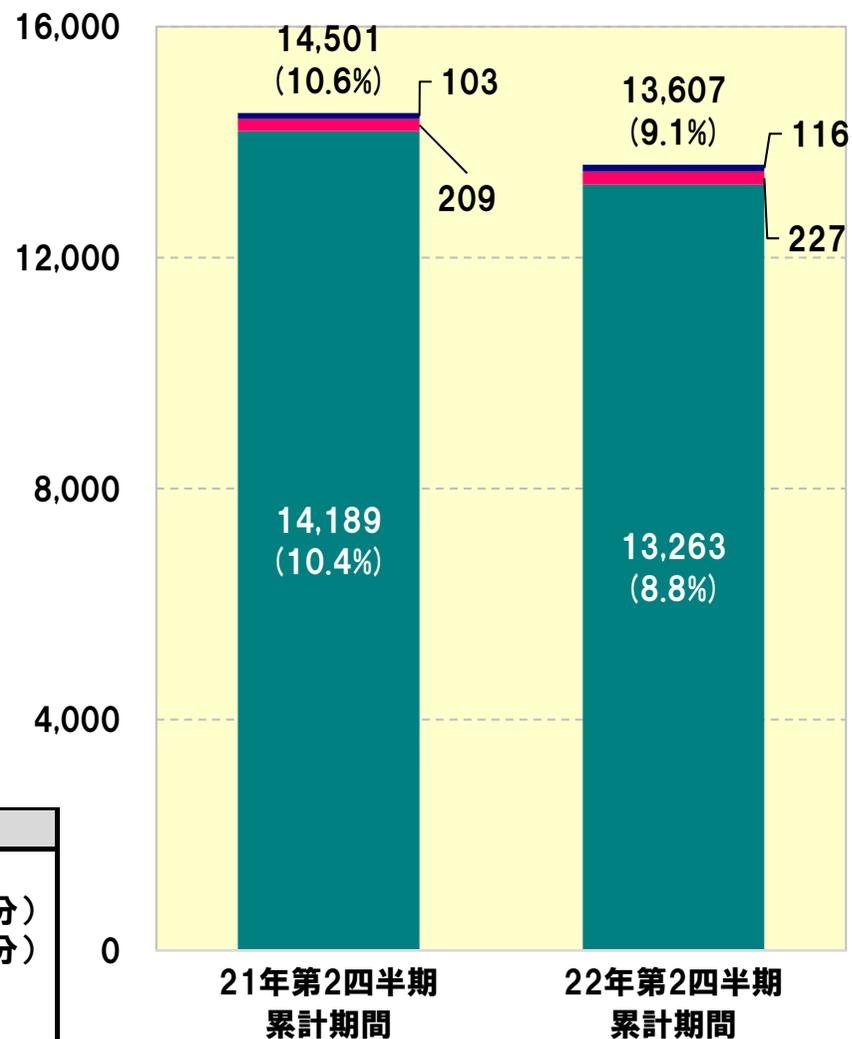
(百万円)

のれん等償却額



(百万円)

営業利益+のれん等償却額



主なのれん等計上金額	
・Western	(13年1月買収 : 2,198百万円 10年償却)
〃	(〃 : 2,439百万円 16年持分追加取得分)
〃	(〃 : 473百万円 18年持分追加取得分)

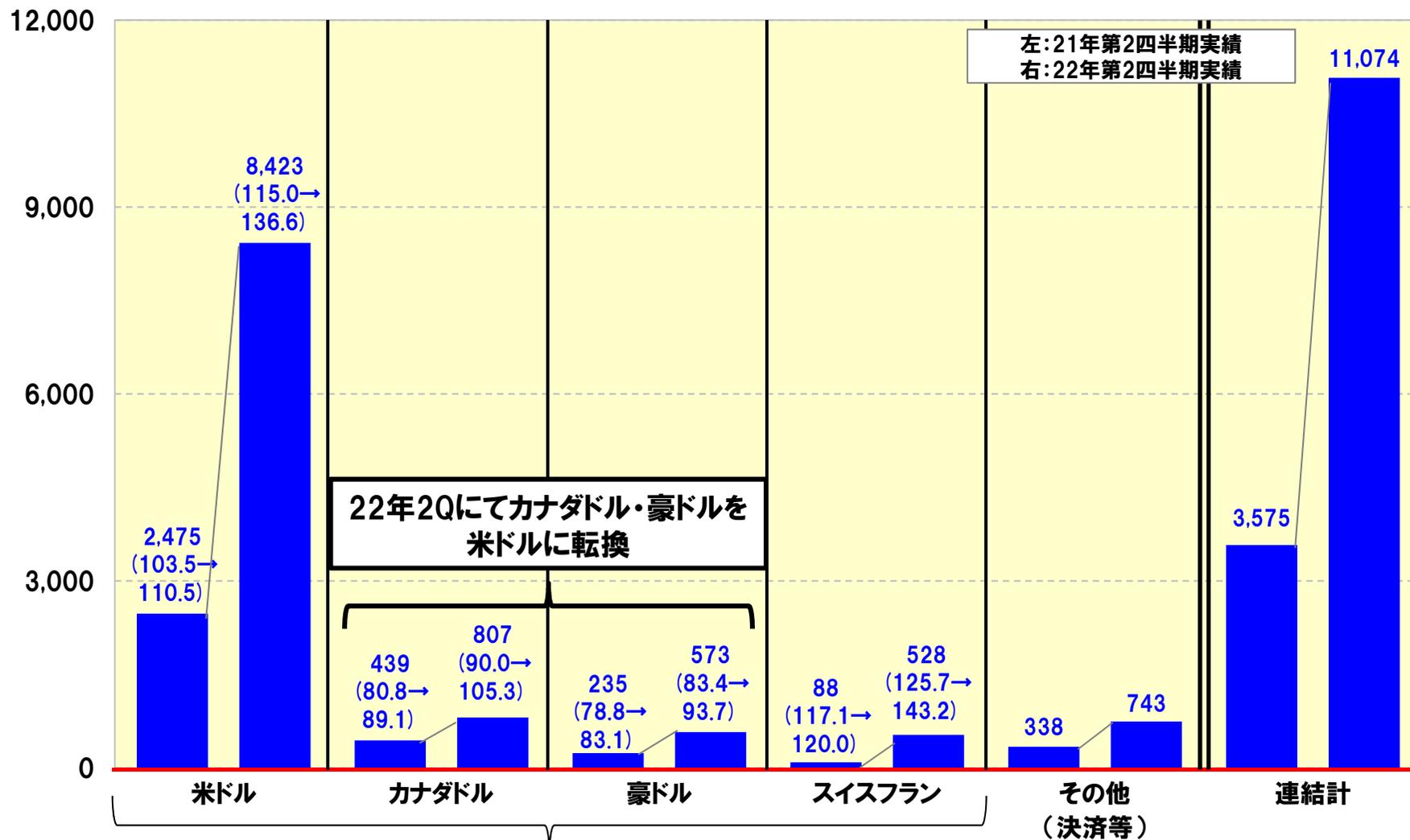
※1: 計上金額は、買収時の為替レートにて算出。
 ※2: 買収に伴う無形固定資産償却等は除く。

※()内は、対売上比率を示す。



為替差損益内訳

(百万円)



外貨預金

※()内は、前期末から当四半期末までの為替レートの動きを示す。
尚、当期のカナダドル・スイスフランは前期末から売却日までの為替の動きを示す。



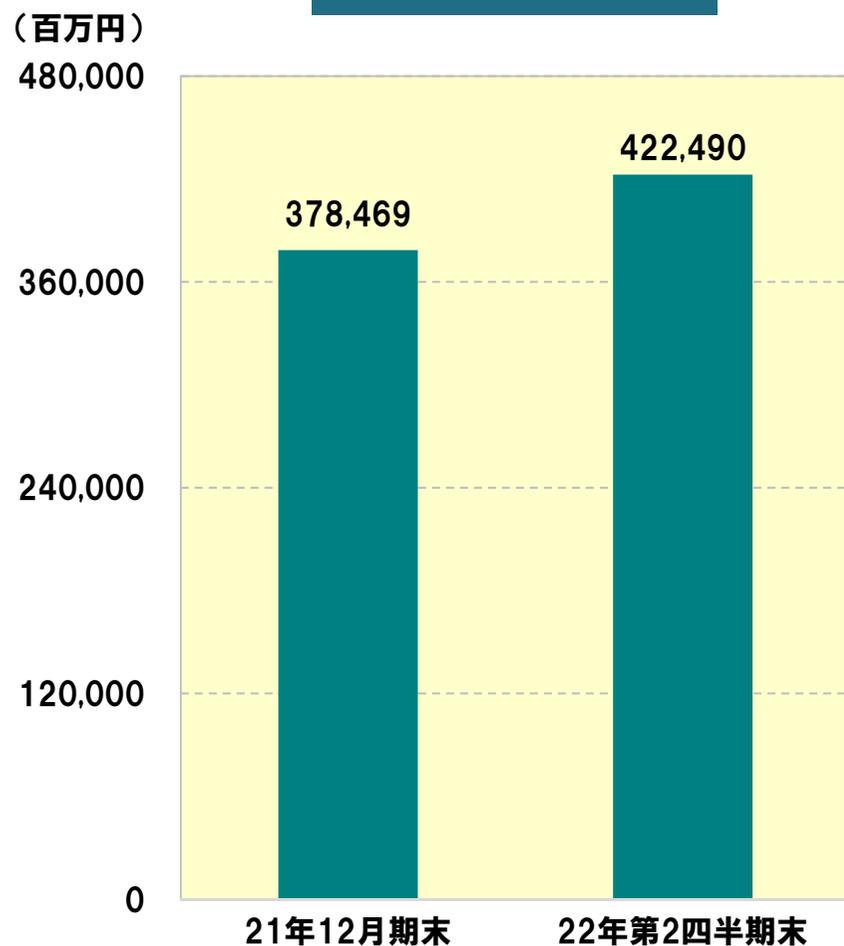
連結貸借対照表

	21年12月期		22年第2四半期		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期末比増減額 (百万円)
流動資産	310,645	82.1	344,001	81.4	+33,355
（手元流動性）	240,723	63.6	254,485	60.2	+13,761
（売上債権）	31,120	8.2	41,094	9.7	+9,973
（たな卸資産）	35,556	9.4	44,850	10.6	+9,293
固定資産	67,823	17.9	78,488	18.6	+10,664
資産合計	378,469	100.0	422,490	100.0	+44,020
流動負債	94,448	25.0	103,457	24.5	+9,008
（仕入債務）	26,070	6.9	29,241	6.9	+3,171
固定負債	24,159	6.4	25,309	6.0	+1,150
負債合計	118,607	31.3	128,766	30.5	+10,159
純資産合計	259,862	68.7	293,723	69.5	+33,861
負債・純資産合計	378,469	100.0	422,490	100.0	+44,020
現預金等(長期性預金含む)	240,723		254,485		+13,761

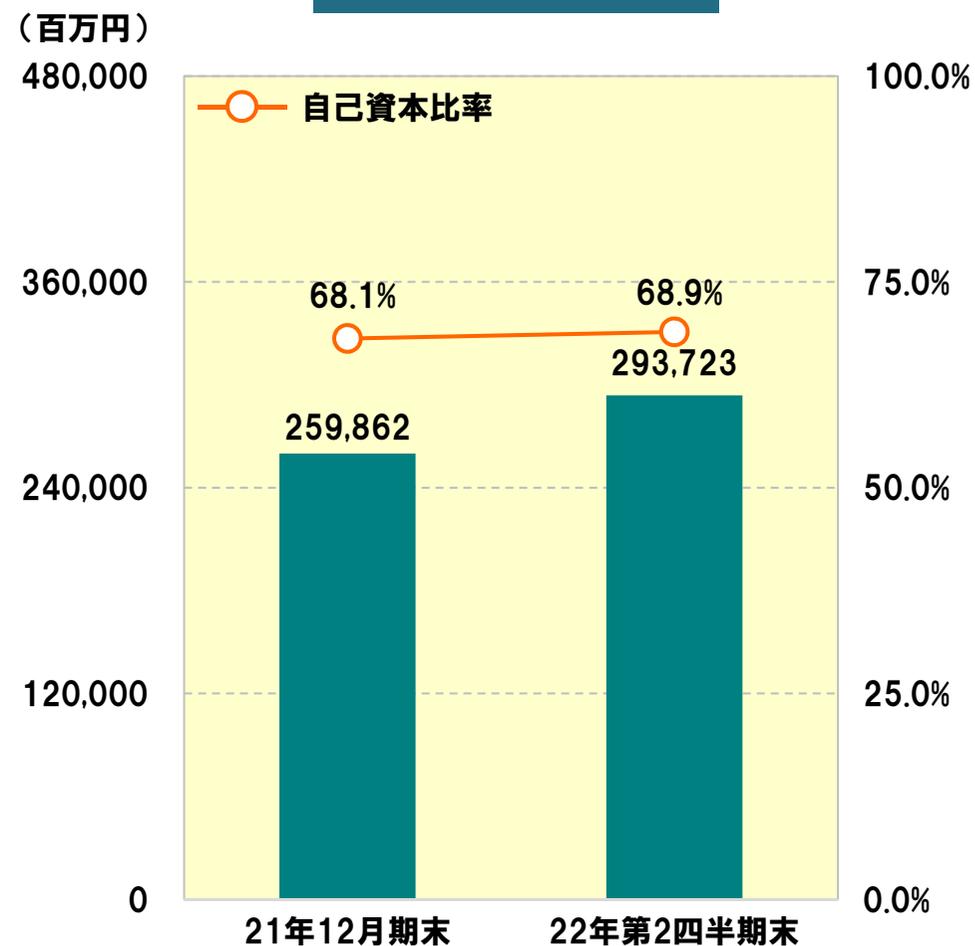


連結総資産額・純資産額の前期末比較

総資産額



純資産額

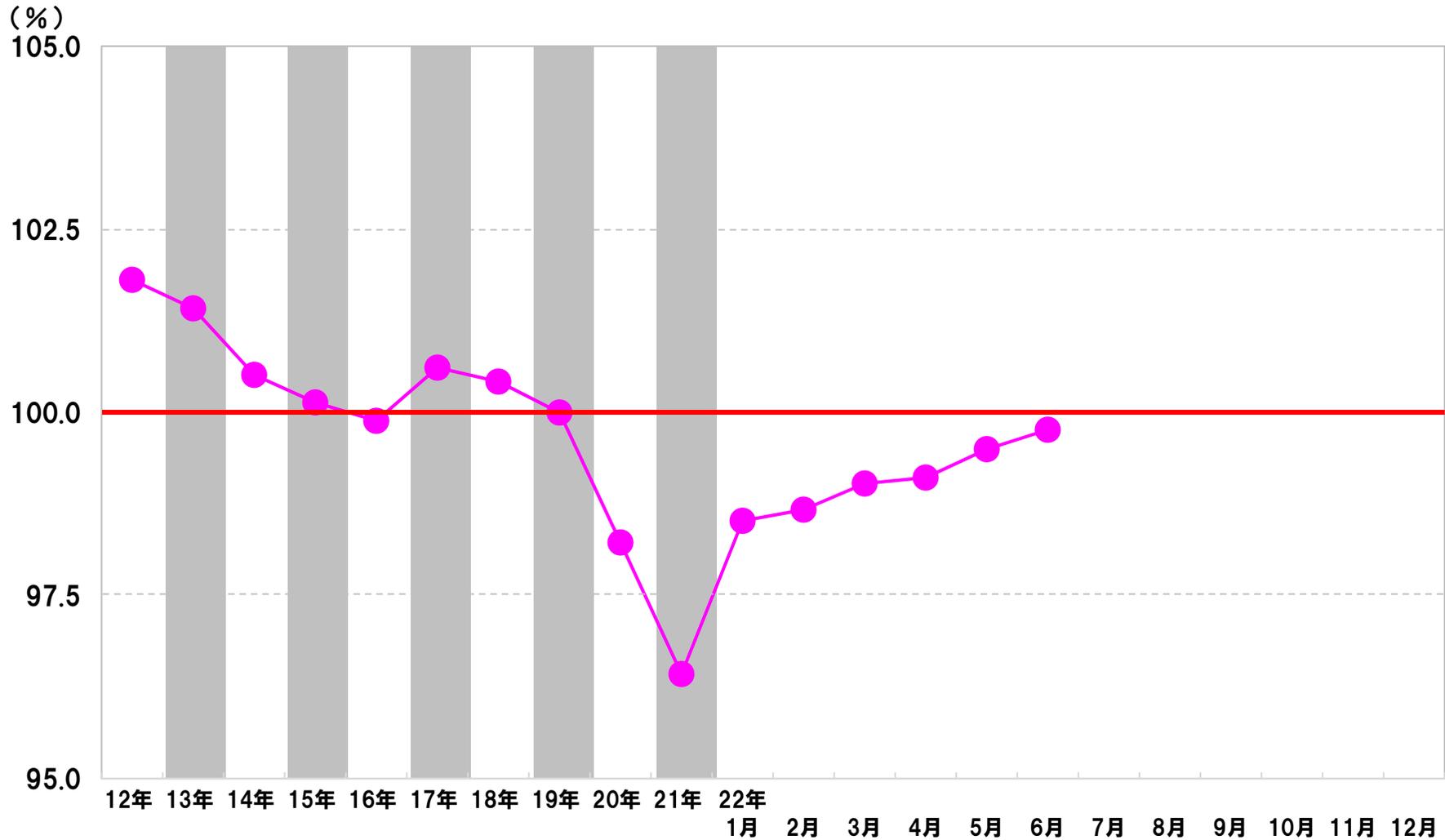




II. 2022年第2四半期 決算のポイント

国内:大手チェーン店 全店店舗数 前期比/前年同月比

- 全店店舗数は、22年は徐々に回復傾向にあるが、20年以降減少が継続している。

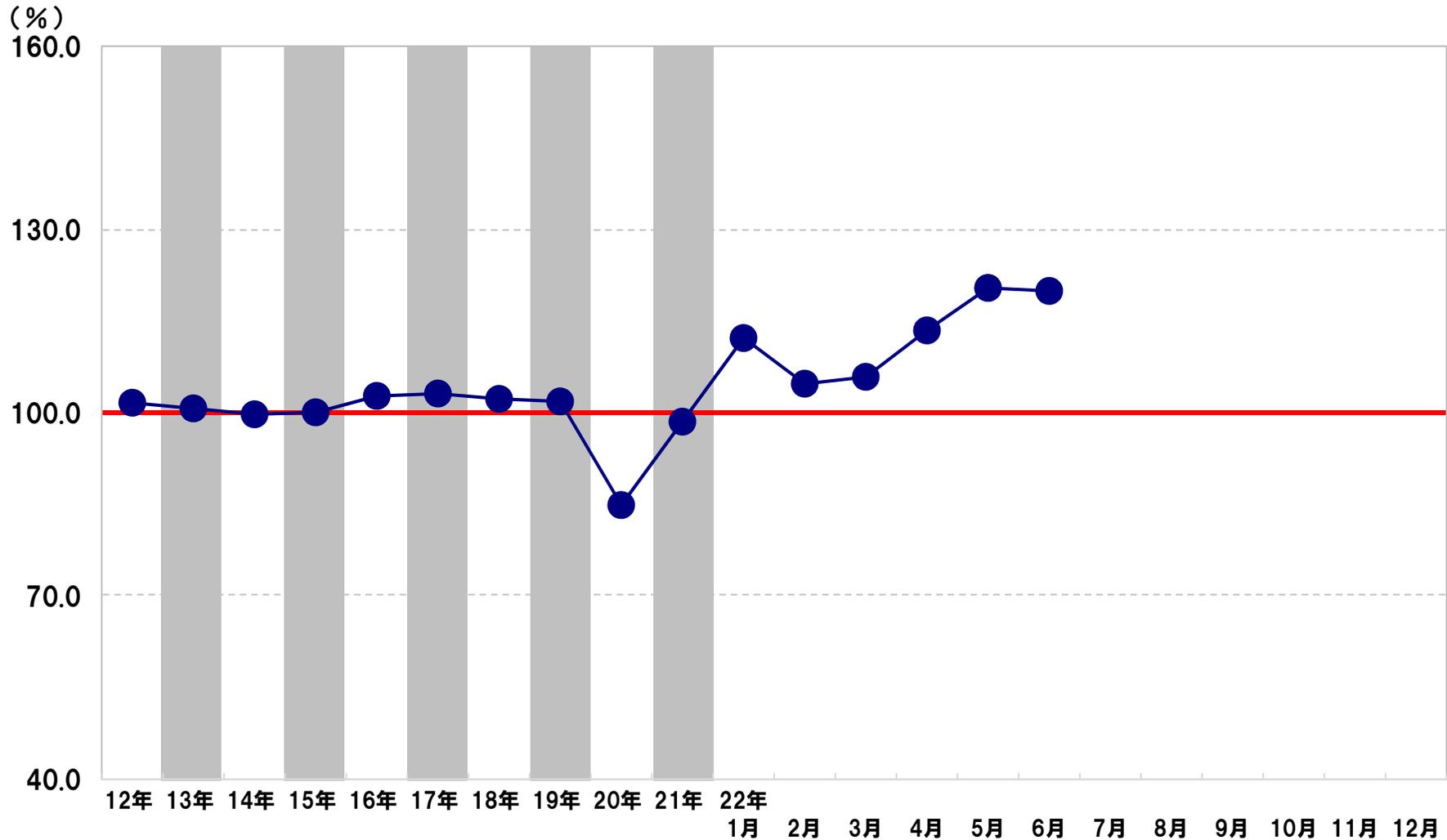


出典:日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査 年間データ」



国内:大手チェーン店 全店売上高 前期比/前年同月比

- 22年1~3月はまん延防止等重点措置適用の影響はあったものの、大都市圏に緊急事態宣言が発令された前年同月を上回って推移。4~6月は緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の適用がなく、前年同月を大きく上回って推移。

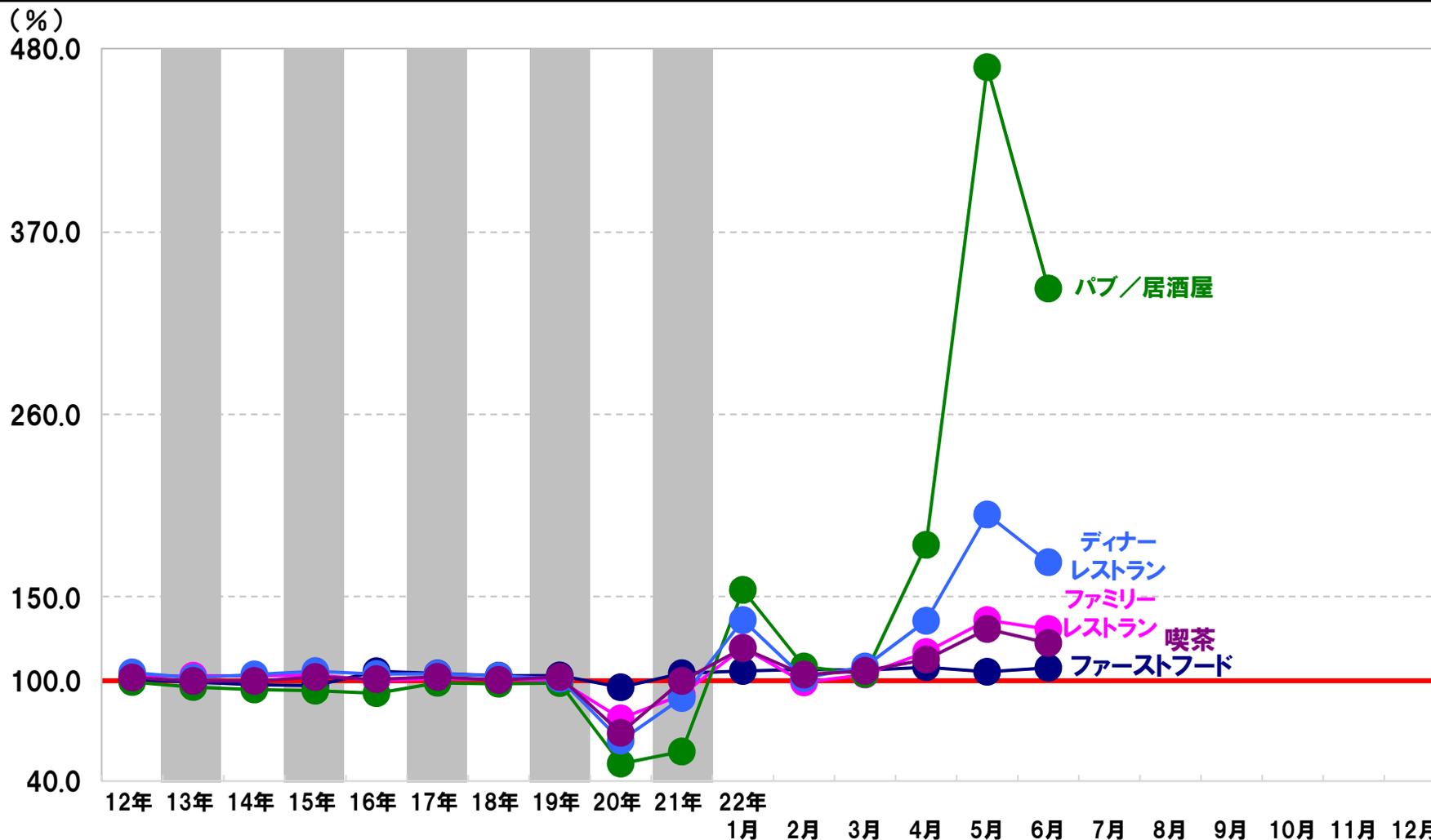


出典:日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査 年間データ」



国内：大手チェーン店 業態別売上高 前期比/前年同月比

- テイクアウトが定着化したファーストフード業態は19年の売上を上回って推移も、その他の業態は需要の低迷傾向が続き、前年同月は上回って推移するも、コロナ前との差は埋まっていない。パブ/居酒屋は一見大きく回復しているように見えるが、19年対比では回復は鈍く、依然苦戦が続いている。



出典：日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査 年間データ」

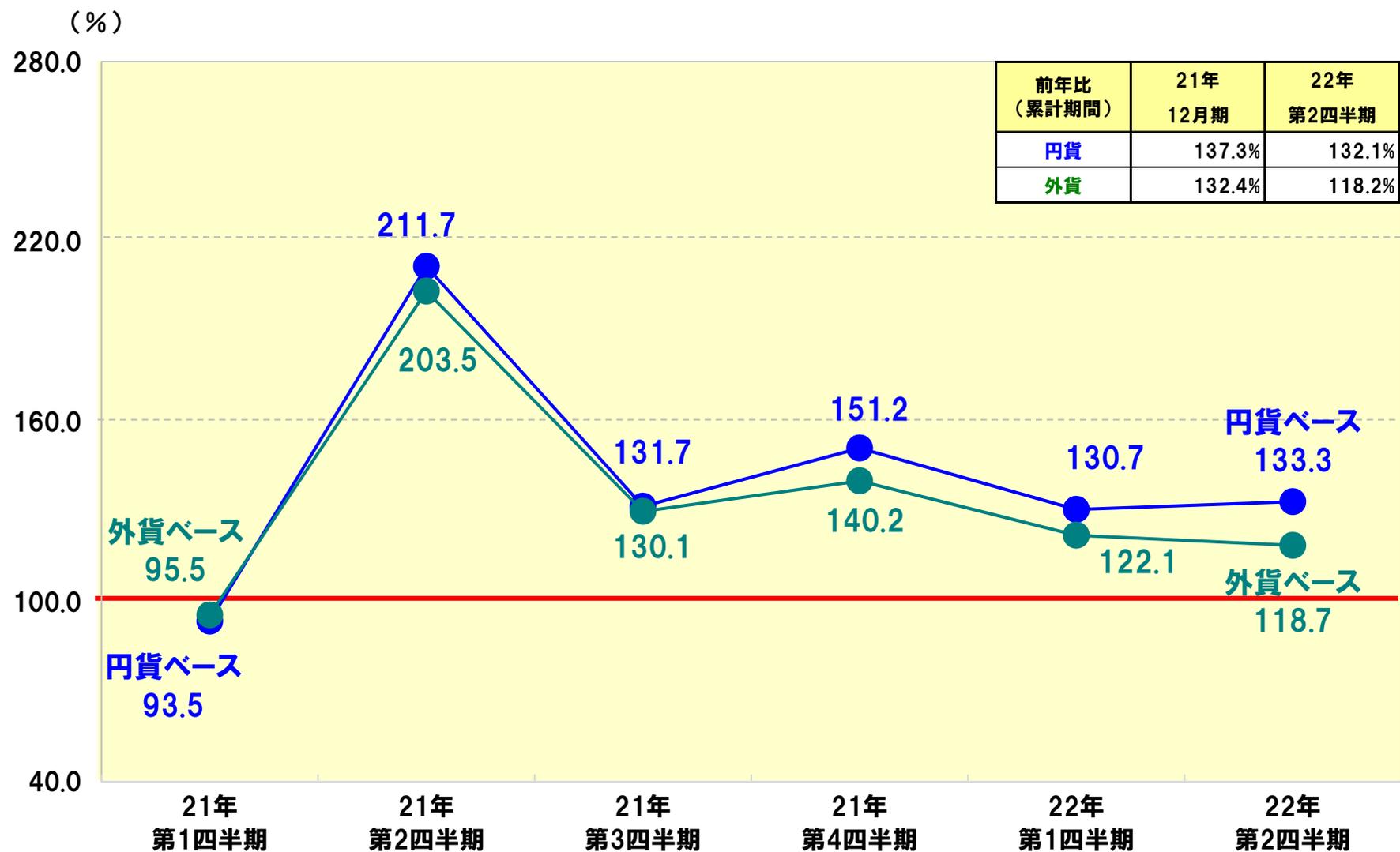


国内:売上高前年同期比推移

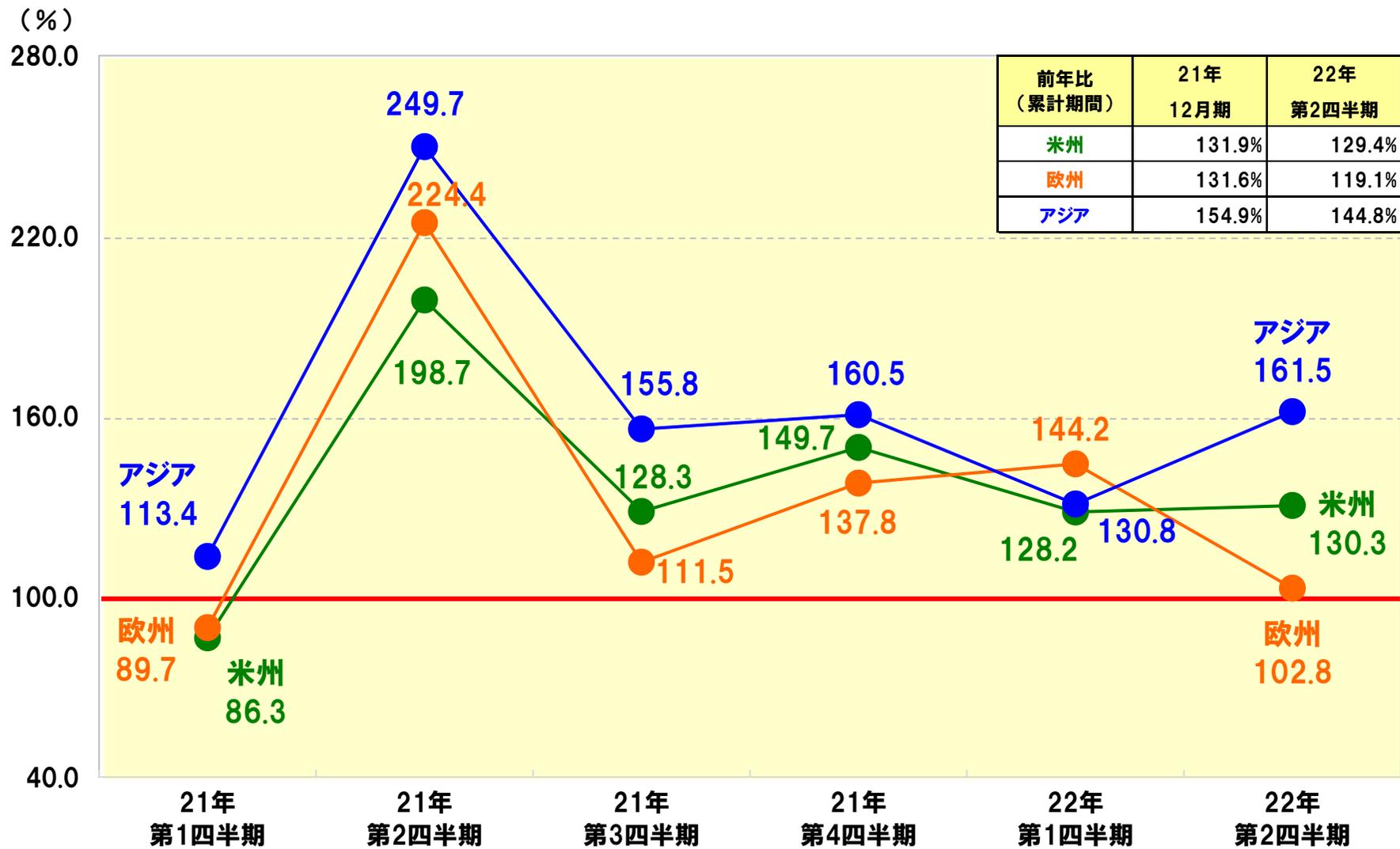
- 緊急事態宣言下にあった前年同期との比較では、需要環境の回復により増収も、引き続き部材調達難に伴う供給不足の影響を受けた。



海外:売上高前年同期比(円貨・外貨)推移



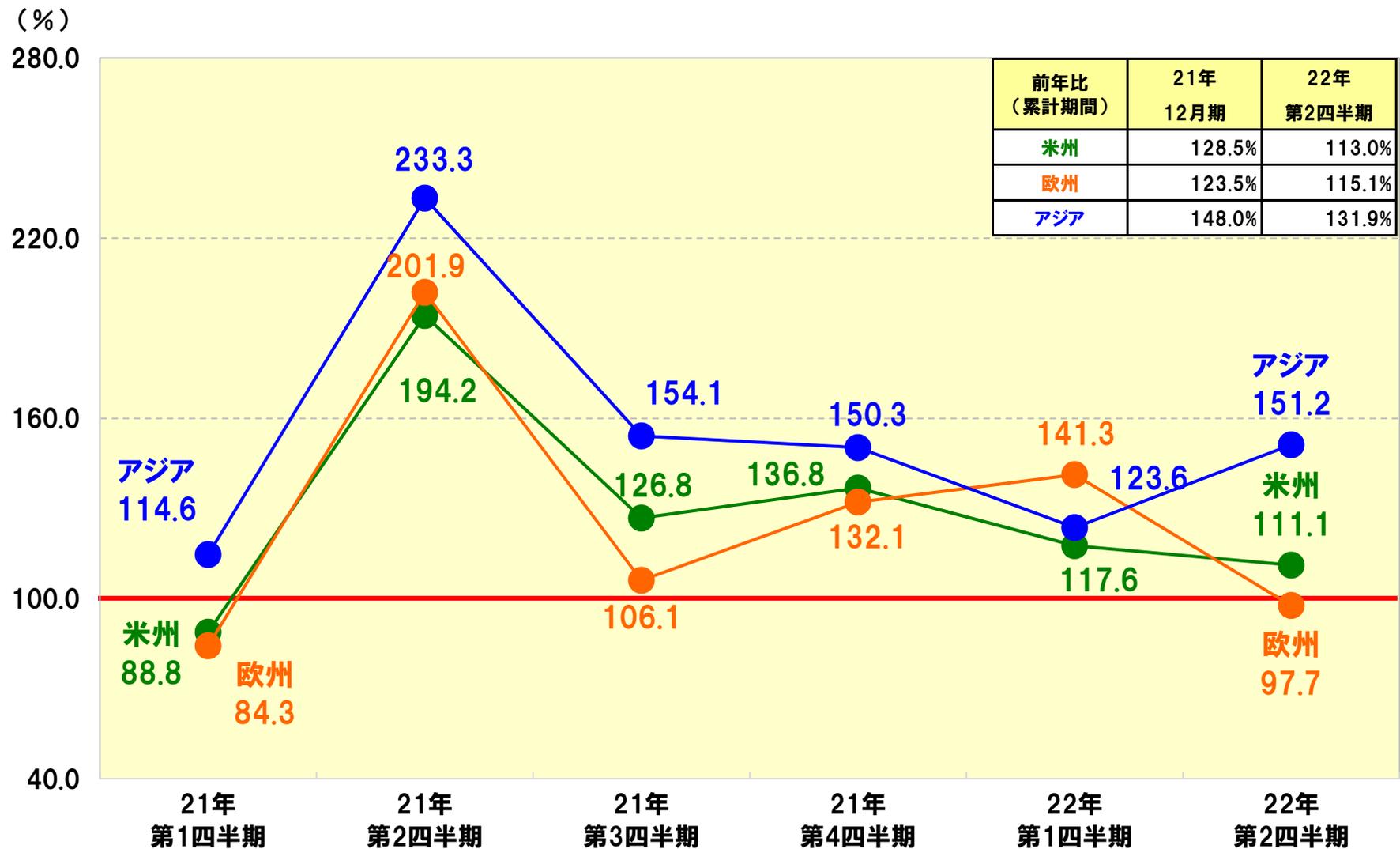
海外:エリア別^{*}売上高前年同期比(円貨ベース)推移



^{*}本社所在地エリア区分(例:ランサー欧州は米州に算入。社内経営管理区分であり、有価証券報告書開示区分と同一。)



海外：エリア別^{*}売上高前年同期比(外貨ベース)推移



※本社所在地エリア区分(例：ランサー欧州は米州に算入。社内経営管理区分であり、有価証券報告書開示区分と同一。)





III. 会社概要・事業内容

HOSHIZAKI

会社概要

- 社 名 : ホシザキ株式会社
- 本 社 : 愛知県 豊明市 栄町南館3-16
- 代 表 者 : 代表取締役社長 小林靖浩
- 設 立 : 1947年2月
- 事 業 内 容 : フードサービス機器の研究開発、製造、販売及び保守サービス
- 資 本 金 : 8,052百万円(2021年12月末現在)
- 業 績
 - ・売上高 274,419百万円
 - ・営業利益 24,931百万円
 - ・当期純利益 21,679百万円(2021年12月期連結)
(※当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益)
- 連結グループ会社 : 51社(国内18社、米州15社、欧州・アジア等18社)
(2022年6月末現在、ホシザキ含む)
- 社 員 数 : 1,234名(個別)、13,219名(連結)
(2022年6月末現在)
- 国内営業所数 : 437ヶ所 (サービスセンター含む)
(2022年6月末現在)



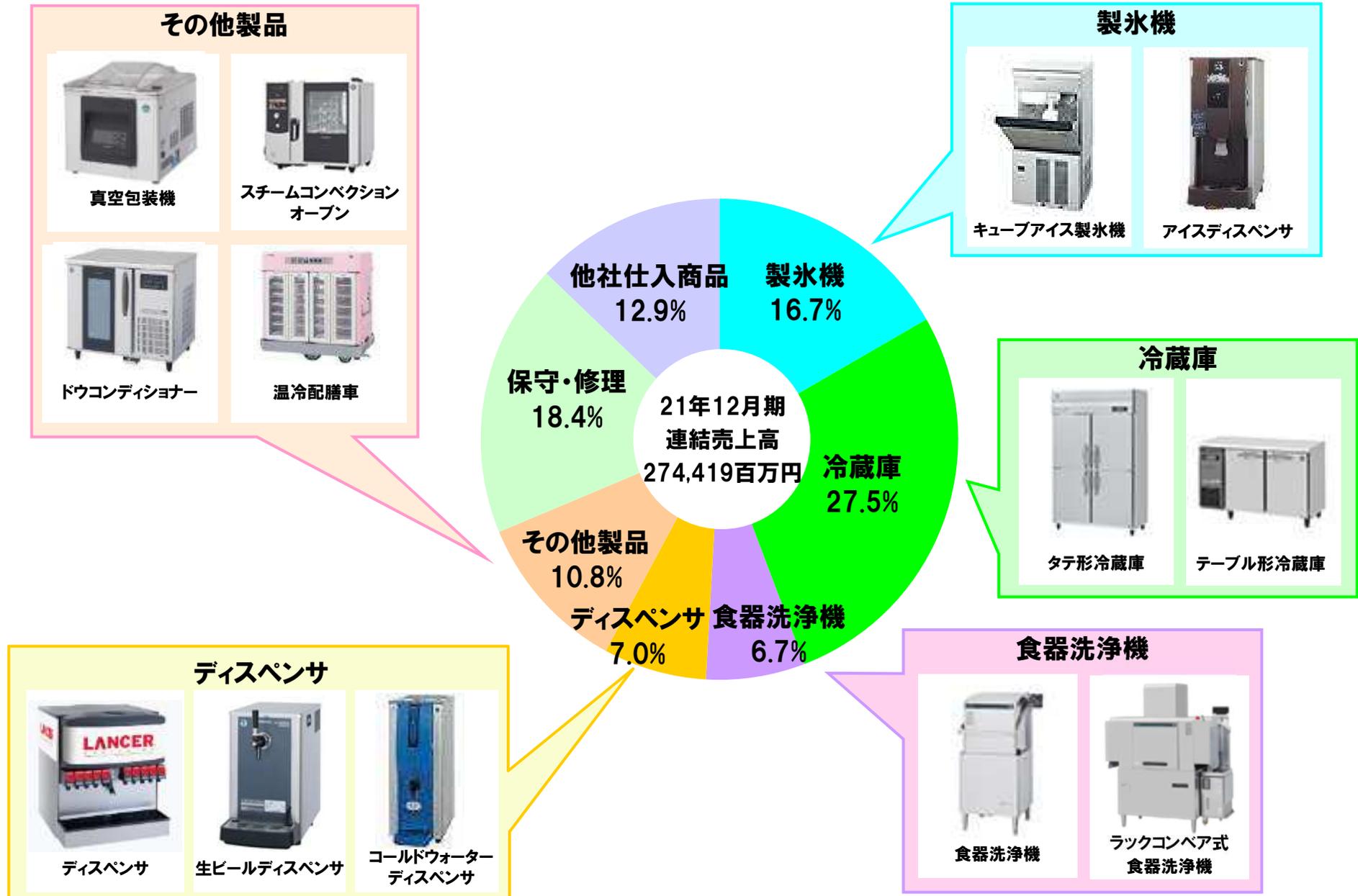
グローバルネットワーク(生産・販売拠点)



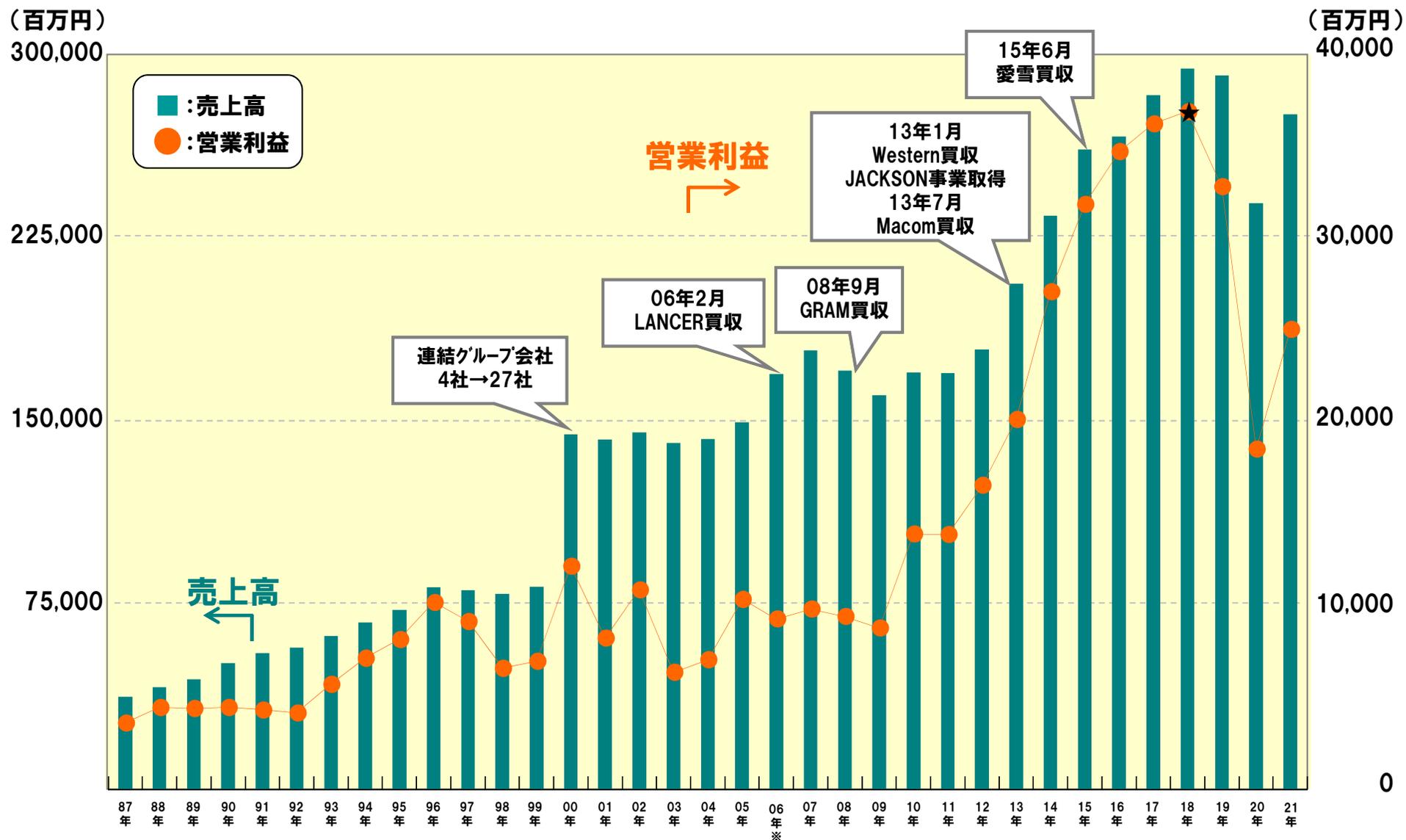
※22年6月末現在。



主要製品群と売上高構成



長期業績推移(連結)



★過去最高収益を示す。

※12ヶ月換算





<参考>
2022年12月期 業績予想

HOSHIZAKI

連結業績予想概要

	20年12月期 実績		21年12月期 実績		22年12月期 業績予想(22.2.9)			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比	
							増減額 (百万円)	率 (%)
売上高	238,314	100.0	274,419	100.0	290,000	100.0	15,580	105.7
売上原価	149,261	62.6	174,727	63.7	185,500	64.0	10,772	106.2
売上総利益	89,053	37.4	99,691	36.3	104,500	36.0	4,808	104.8
販売費及び一般管理費	70,605	29.6	74,760	27.2	78,000	26.9	3,239	104.3
営業利益	18,447	7.7	24,931	9.1	26,500	9.1	1,568	106.3
経常利益	17,420	7.3	31,165	11.4	27,200	9.4	-3,965	87.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	11,442	4.8	21,679	7.9	18,900	6.5	-2,779	87.2

本資料における注意事項等

- 本資料にはホシザキ株式会社(以下、弊社)の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述及び資料が記載されております。
- これらの将来的予測に関する記述及び資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき弊社が判断した予測です。
- また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料及び弊社IRに関するお問い合わせ先】

ホシザキ株式会社 経営企画部

TEL (0562)96-1320

URL <http://www.hoshizaki.co.jp/>

